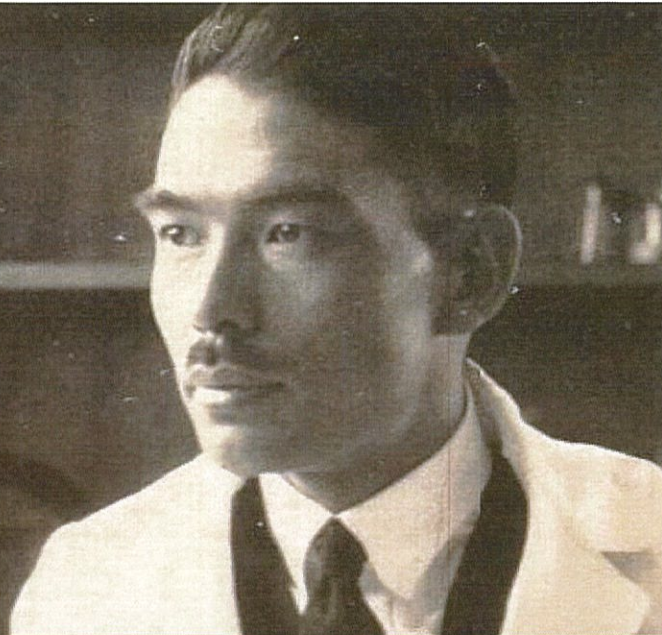


木原 均博士 (1893-1986)

20世紀における高等植物の遺伝学・
進化学の研究で数々の業績を残す。
ゲノム説の提唱、パン小麦の祖先の
発見、高等植物の性染色体の発見は
世界的な研究成果として知られる。



公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

木原記念財団学術賞 記念講演会

参加無料

オンライン

第32回受賞者

祝賀講演

遺伝学を利用して
記憶を理解する

現代社会が抱える問題に立ち向かう
—脳神経科学研究センターの挑戦—



理化学研究所
脳神経科学研究センター
チームリーダー
トーマス・
マックヒュー氏



理化学研究所
脳神経科学研究センター長
影山 龍一郎氏

日時：2024年8月29日 (木) 14:00～16:15

注：マックヒュー氏の講演のみ英語となります。ZOOMの字幕翻訳機能をご使用ください。

お申込み：<https://x.gd/5h8Dw> (zoom登録フォーム)

お問合せ：公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

学術賞担当 TEL045-502-4810 kiharagakujutsusho@kihara.or.jp





KI HAR A ism

探究への情熱をずっと

未だ不明な点が多い記憶研究において、「記憶」の形成に必須である脳の海馬の神経活動の研究を中心に、多岐にわたる業績発表により世界的なリーダーとして本分野を先導しているトーマス・マックヒュー博士による受賞記念講演となります。

また、マックヒュー博士が所属する、理化学研究所脳神経科学研究センター長の影山龍一郎博士より、脳研究の中核拠点「脳神経科学研究センター」のご紹介と脳研究の現状についてご講演いただきます。

講演会次第

開会挨拶

木原記念横浜生命科学振興財団 理事長 大野 泰雄

学術賞受賞研究の概要 選考委員長

14:10-14:20 (公財) 微生物化学研究会微生物化学研究所
特任部長 長田 裕之氏 (10分)

講演

1 14:20-15:20 「Using genetics to understanding memory
(遺伝学を利用して記憶を理解する)」

第32回受賞者 国立研究開発法人理化学研究所

チームリーダー トーマス・マックヒュー氏 (60分)

2 15:20-16:05 「現代社会が抱える問題に立ち向かう
—脳神経科学研究センターの挑戦—」
国立研究開発法人理化学研究所脳神経科学研究センター
センター長 影山 龍一郎氏 (45分)

3 16:05-16:15 「木原記念学術賞のご案内」 (10分)
木原記念横浜生命科学振興財団 常務理事 鈴木 榮一郎